

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103185
法人名	医療法人 慈恵会
事業所名	グループホーム ザテラス西田橋
所在地	鹿児島県鹿児島市西田1丁目11番1号 (電話) 099-213-0091
自己評価作成日	令和2年2月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年3月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームという事で、家庭的な環境作り、穏やかな雰囲気作り、利用者様と信頼関係を深められるよう日々邁進しております。「ゆっくり、やさしく、おだやかに」という理念を掲げ、スタッフ全員が信念と踏まえ毎朝朝礼で唱和する事で、理想とするサービスを提供することが実現できています。大規模な法人の利点を活かし、系列の土橋病院・訪問看護ステーションと24時間体制の連携を図ることで、入居者様の健康管理をさせていただいております。定期で月2回の往診も実施しています。その際、必要な薬の処方や、日ごろの生活面の報告、診察による異常時の早期発見・相談ができる環境が整っています。1日の過ごし方として、毎日昼・夕の体操、脳トレ、レク活動、歌を取り入れ、それを週間化する事で、認知症の進行予防・身体機能の維持・向上を図ることができています。日々のコミュニケーションにより、精神面や体調面に配慮して、これらの活動に取り組んでいます。また繁華街が近く地域資源を存分に活かしたいという思いから、催し物や買い物に行ったり、近所の店も利用しています。例を挙げると、昨年はマクドナルドやミスタードーナツといった新しいことにも挑戦致しました。高齢だから・認知症だからと決めつけることなく、固定概念を撤廃しご本人様の意思・思いを汲み取り、様々なことに挑戦しています。

- ・当事業所は道路を挟んで母体医療機関があり、協力医療機関の定期的な訪問診療や訪問看護師との24時間連携の対応ができており、日々の健康管理や緊急時の対応などに適切な医療が受けられるよう連携を取っている。
- ・町内会に加入し、地域行事の夏祭りには職員が踊り連に参加している。食材も地域の商店で購入するなど積極的に地域と交流を進めている。
- ・管理者は職員が働きやすい環境作りに配慮し、資格取得に向けた支援や各種研修への参加を奨励している。職員間のコミュニケーションも図り、自らの資質向上に取り組んでいる。
- ・利用者の体操や脳トレーニング・レクレーション活動等を習慣化することで身体機能の維持が図れるように努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	日頃から、地域密着型サービスと意識づけてもらえるよう、事業所付近の住民や、近隣の店や配達を利用する際に挨拶をするよう周知・実践している。	理念を玄関や事業所内に掲示し、パンフレットにも記載している。朝礼時の唱和で意識づけし、会議等で確認し、理念に沿ったケアの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議、夏は、法人六月灯・地域の夏祭りを通じて交流を図れているが、まだまだ交流の幅を広げていきたい所である。	町内会に加入し、夏祭りには踊り連に職員が参加したり六月燈見物など地域行事にも積極的に参加している。幼稚園との交流・ボランティアの受け入れなども行っている。食材等は地域の商店を活用するなど、日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を通じて、地域の方（町内会長・民生委員・地域住民）にグループホームであった支援・事故の事例を出し発信できている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>事故報告・行事報告・苦情が出た際は必ず報告し、助言していただき一般の方からの意見も参考にし取り入れている。</p>	<p>会議は定期的開催し、事業所の状況や事業実施報告・ヒヤリハット・事故報告・外部評価結果報告などを行い、参加者からも多くの助言や提案がある。事業所への理解を深め、情報発信の場ともなっている。災害時の危険箇を話し合い、避難訓練に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>家族とのトラブルで問題になった際、保健所・市役所の窓口にご相談し、意見を参考しさせてもらった。</p>	<p>市担当者とは、困難事例や各種手続きに関する相談など、必要に応じて電話や窓口に出向き、助言や指導を受け連携をとっている。運営推進会議を通して協力関係もできている。市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>定期的に決められた回数で身体拘束委員会を実施し、グループホームでは、身体的拘束は行った事例もなく、行わないことを周知している。また普段の声掛けが、言葉による身体拘束に繋がらないように指導を行っている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会で、マニュアルに沿って勉強会を3ヶ月毎に実施し、職員会議でも勉強会を実施している。職員の共通認識を図り身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、見守りや一緒に散歩するなど、安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者の身体に内出血斑を発見した際は、防犯カメラを活用し速やかに原因解明し、虐待の事実がないことを確認し、再発防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護について研修を行ったり、実際に成年後見制度を利用している利用者があり、実際に制度について学ぶことができている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は十分に時間を確保し説明を行っている。本年は改定はなかったが、解約の際も、その都度ご説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族からの意見・要望・改善点については、管理職・一般職員も通して真摯に受けとめ、話し合いの場を設け、改善に努めている。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、筆談専用ノートも活用している。家族からは面会や年2回の家族会・電話・運営推進会議が意見を聞く良い機会となっている。出された要望で、薬の変更時には薬の説明書を送付したり、訪問リハビリの活用、おやつにプリンを提供するなど、意見を反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の意見・要望を話しやすい環境作りに努め、会議や普段のコミュニケーションを通して、反映・改善に努めている。</p>	<p>管理者は職員会議やフロア会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。出された提案で服薬の担当者を決めるなど、意見を反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年数に応じて今年度は昇給も達成できた。また働き方改革に着目して有給が取得しやすい環境や、時間外があった場合は勤務調整し早上がりも取り入れ実施できている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修に関しては、本年度は1名しか参加できなかったが、法人に外部講師を招き、話を聞く機会が数回設けられた。新人職員が多いこともあり、介護の基礎知識の研修を1年を通して学ぶ取り組みをした。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>城西交流会という、地域のグループホーム・小規模多機能ホームが集まる連絡会に管理者のみ参加した。今後は職員が参加する機会も設けたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に、ご本人様の意思確認・好み・趣味嗜好を把握し、話をしていく中でニーズを自然と聞き取り、安心ある生活の提供に役立っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前・契約時に、ご家族の意思確認・悩み・要望を把握し、聞き取り、安心ある入所生活の提供・信頼関係づくりのきっかけを作るよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ADL・精神面・認知面を把握しそれらを踏まえて、最低限必要な支援を見極めサービスを提供できている。ニーズがあれば歯科や訪問マッサージを提案している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護やお世話をしてあげているという概念を持たず、共同生活介護という認識をもち介護を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と関わる際は、生活の様子や、良くも悪くも変化があった際は常に報告し、家族の意見も取り入れ、専門的な知識も導入しながら、支援に活かしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	旧友や、ご家族・馴染みの店（理容室・ストア）と関わりを継続できている。また全員ではないが、外泊や外出を通じて自宅に戻る事もできている。	家族や友人・知人の訪問の際にはお茶を飲んだりしている。散歩を兼ねて馴染みの店での買い物・手紙・電話の取次ぎなども行って、継続的關係が途切れないよう支援している。家族の協力で外泊や外出・外食・墓参・理美容院使用などの際にも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席の配置・向きに配慮を行っており、関係性の悪化などがみられたら席替えも実施している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所され、母体の土橋病院に入院してからも、県外の家族ということもあり、入院生活のサポートを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所時・または本人に何らかの変化があった場合にはしっかりと聞き取りや、何気ない会話の中から希望・意向を聞き取っている。	入居時のアセスメントを参考に、入浴や夜勤など日々の関わりの中で、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、利用者の思いを家族とも相談し、利用者の視点に立って、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の生活歴や、性格の把握に努め、趣味嗜好を大事にし暮らしに活かしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズムに合わせて、個別レク・マッサージ器・読書など、無理に集団的な活動を強制せず、過ごしていただいている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に1回の会議の中で、介護計画書を用いて、現状の課題・達成率を話し合い、それをプランに反映させている。	本人・家族の意向を確認し、主治医や職員の意見を入れて担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月ごとに実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	普段の様子をしっかりと記入することで、職員間で情報共有ができています。またそれにより、変化を見逃さず、変化があったときは計画書の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	例をあげると、交通の便が悪いご家族・遠方・家族の高齢化に伴う事情に伴い、病院受診の付き添い・必要物品の購入代行等柔軟に対応できている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	生活歴の中から本人が地域にどう関わっていたかを把握している。例を挙げると手紙の返事を利用者に書いてもらい、一緒にポストに出しに行ったりと社会参加に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体の土橋病院より月2回の訪問診療を実施している。服薬の変更や症状の変化・進行があった場合は、ご家族へ報告を行い、治療方針の同意を得ている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関から2週間に1回の訪問診療と歯科は、必要時に訪問診療で対応している。薬剤師や訪問看護ステーションの連携も図り、健康管理や緊急時の対応など適切な医療を受けられるよう支援している。薬の変更については情報を送付している。受診結果は家族と共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	母体の土橋病院の外来看護師・夜間は訪問看護と連携を図り、医療的な面は必ず報告し指示を受けている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時は、必ず1ヵ月以内の退院希望を入院先の病院に伝達し、ホームに帰ってこれる事を前提に話を進めている。その為入院期間中は入院中の状況を電話にて聞き取りしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	まずは入所時に、終末期の在り方を家族・本人に聞き取りを行っている。また設備上の理由により、立位が不可能となった場合は生活が困難になるということを実際に入浴室をみていただき、説明している。	契約時に重度化した場合における対応に係る指針を説明し、同意書をもっている。状況変化に伴い家族の意向を確認しながら看取りに関する考え方の説明も行い、主治医を交えて話し合い、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変時や事故発生の際は、マニュアルに従い、医療機関・管理者へ連絡を取り、独断で行動しないように周知している。バイタル測定・簡単な応急処置は指示がなくてもできている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>水害・火事・地震などあらゆる災害に備え、訓練や研修を開催している。運営推進会議の際にも、地域に災害時の協力要請を行っている。</p>	<p>消防署立会いのもと年1回、自主で年1回、火災・地震・水害を想定しての避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置を設置し、定期的に設備等の点検も行っている。運営推進会議の際にも協力要請を行っている。水・米・缶詰・レトルト食品・ごはんなどの備蓄もある。運営本部にも備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人格の尊重・プライバシーの配慮に注意した声掛けを、年間の勉強会・会議を通じて研修を行い、普段の業務に活かしている。特に排泄後の確認時には気を付けている。</p>	<p>年1回、実施される接遇や権利擁護等の法人研修に全員参加している。事業所でも月1回勉強会を行って職員の資質向上に取り組んでいる。入室時、入浴、トイレ誘導などでは羞恥心に配慮するなど、日頃から誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>一例挙げると、入浴前や起床時にこちらで衣類を選択せず、ご自分で選んでもらったりと自己の選択性を大切にしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>業務の流れや職員の都合を優先するのではなく、本人の気持ちや体調に合わせ、家事動作・入浴・レクなどを提供している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>認知症のため、着る枚数や季節感が判断できず衣類の選択を誤った際は助言を行っている。髪型、メイクなどこだわりを大事にし、身綺麗にできるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いを事前に把握し、食事提供をしている。また盛り付けや食器拭きも、利用者を交えて行っている。	献立は、旬の食材を使用し利用者の嗜好や食事の形態に配慮し作成している。月～金曜日の昼のみ系列施設より昼食が届き、後はホームで作成している。食事の下ごしらえや食器拭きなどを職員と一緒にしたりもする。誕生祝いや行事食・ソーメン流しなど、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は把握し記載している。また個々にあわせて、キザミ食・とろみをつけたりと食事提供も工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	基本的には自立にて行ってもらっているが、手の行き届かない方は必要に応じて、仕上げ磨きの支援をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	基本的には立位がとれる以上はトイレ誘導にて排泄を行っている。また失敗のないよう、定期的な声掛けを行い定時に誘導している。	排泄のリズムを把握し、必要に応じての声掛けをし、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。夜間のポータブルトイレ利用者もいる。声掛けにより失禁が少なくなり、改善された事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防のため腸動運動や、水分補給や食品を活用し、便秘予防に取り組んでいる。必要に応じて医師の指示で下剤を使用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の気分に合わせ、入浴時間を変更したり、振替日を設け入浴日の変更をするなど、気持ちよく入っていただけるよう調整している。	基本的には週3回の午前中であるが、体調や希望で柔軟に対応している。足浴やシャワー浴も実施している。ゆず湯をしたり、脱衣所や浴室の温度管理も行い、入浴を楽しめるよう支援している。入浴を拒む場合は時間調整や声かけの工夫をして入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝の時間等は特別設けてはいないが、本人の意向や状態を見極め、自由に部屋ですごしたり、フロアのソファで過ごしていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	記録物と一緒に、薬情報をファイルに入れており、常に行き届くようにしている。また追加の薬が出た時も、症状の変化を医療機関と連携を図り、観察している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>化粧をする方、新聞を毎日読まれる方、クロスワードが好きな方など、個人に合わせた楽しみのある生活を提供している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>現在のところ、突発的にご本人の要望通りに外出は行えていない。集団での外出は計画し、月に1回程度は外出している。今後本人の行きたい所へ外出できるよう支援の在り方を見直したい。</p>	<p>日常的には体調などを考慮して周辺の散歩や買い物などに出かけている。計画で、初詣や季節の花見・都市農業センター・木市・六月燈・夏祭り等に出かけている。家族の協力で外泊や外出・外食・買い物・墓参などの際に支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>原則として、本人が金銭を所持することは禁止していない。その他全員の預かり金は事務所保管にて管理し必要物品を購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙や電話でのやりとりなどは、本人の要望があった時、手紙や、送りものが届いた際にはやりとりを行えるよう支援できている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活環境においては、採光・物の配置、室温、プライバシーの確保、季節感ある室内づくりを行っている。また必要に応じて手すりを追加したりと、安全面にも力を注いでいる。	共用空間は広々として、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。壁面には利用者の習字などの作品や行事の写真・花など季節感を大事にした飾りがある。畳の空間やソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	相性や性格をアセスメントし判断することで、良好な関係性を築いているように思える。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅から馴染みのある家具や、インテリアを必ず持ち込んでいただき、より安心した入所生活を送れるよう支援している。	居室はエアコン・ベッド・タンス・温度計を設置している。テレビや時計・寝具・ハンガーラック・仏壇・家族の写真・若い頃の写真・ぬいぐるみなど、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ安心して過ごせるよう配慮してある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	入浴室、トイレ、台所などそれぞれの用途が理解しやすいよう、生活環境を整え自立生活を促している。また同意を得て、居室の前に表札を掲示している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない